

2018

迎春 群馬県中小企業団体中央会新年会 賀正



2018年の新年会を、1月23日(火)、前橋商工会議所会館において開催しました。大雪に加え草津の本白根山の噴火と、2つの自然災害に見舞われましたが、全国中央会大村会長をはじめ、群馬県、国会議員、県議会、行政機関、金融機関、友好団体等多数の来賓を含む、総勢148名の出席をいただきました。

新年会の開会に際して、本会金子会長が「日本経済は緩やかな回復基調が続いていると言われるが、私たちが中小企業は『人手不足』『利益が出ない』という二足のわらじを履いて登山をしている状況にある。

こうした中、本会の会員組合では、事業者同士の『つながる力』を発揮し、社会・経済環境の変化に対し、生産性の向上や取引力の強化、人材の確保・育成を図っているほか、魅力あるまちづくりの推進や自治体との防災協定締結等、地域社会への貢献活動にも取り組んでいる。

とにかく、地方経済を元気にするには中小企業が元気でなければならぬ。本会では、地域の活性化と中小企業の発展は一心同体であるとの意気で、会員組合はもとより、組合傘下の企業の支援にも積極的に取り組んで参る所存であると挨拶した。



金子正元 会長

塚越正弘
群馬県産業経済部長

続いて、群馬県知事・大澤正明氏の代理として、群馬県産業経済部長・塚越正弘氏が登壇し、「昨年は上毛三碑がユネスコ『世界の記憶』に登録され、県内は大きな喜びに沸いた。更に国道17号『上武道路』の全線開通により、群馬県が誇る交通の優位性が更に高まることとなった。



織田沢俊幸
群馬県議会議長

織田沢氏は「県内の企業は99%が中小企業・小規模事業者である。その中小企業者を束ねる組合を支援するのが中央会であり、県経済

群馬県では、人口減少社会においても県民一人一人が幸せを実感できるよう、今後も様々な施策を推進していく所存である。中央会には、県内中小企業を支えるパートナーとして活躍を期待している」との祝辞を代読した。

今月11日には、『Gメッセ群馬』こと群馬コンベンションセンターの工事が着工した。『人・モノ・情報』を呼び込む拠点として活用し、県内企業に大きなビジネスチャンスをもたらすことを期待している。



岸 道信
日本銀行前橋支店長

を牽引する役割を期待している。海外への進出等、新たなチャレンジを行う中小企業も少なくない。是非、そのような中小企業への支援の強化をお願いしたい」と中央会への期待を述べた。

大村氏は「昨年は長野県にて全国大会を行い、吸い上げた要望は積極的に政府へ伝えてきた。今年は、①中小企業の生産性の向上、②事業承継の促進、③中小企業の実態に即した働き方改革の実現の3本柱で要望を行っていく。群馬



大村功作
全国中央会会長

県中央会とも要望の実現に向けて、連携を密とし積極的に取組んでいきたい」と抱負を述べた。

来賓挨拶の後、鏡開きを行い、群馬銀行代表取締役頭取・齋藤一雄氏が乾杯の発声を行った。



終始和やかな雰囲気懇親を深め、本会吉田勝彦副会長の中締めにより盛会裡に終了した。



群馬ものづくり フェア

11月21日・22日の2日間、高崎市・ピエント高崎において、展示商談会「群馬ものづくりフェア」が開催された。

当展示会は、県内中小企業の技術・製品のPRを通して、販路拡大・技術交流につなげることを目的に開催されている。

8度目の開催となる今回は、ものづくり企業99社が出展し、2日間合計約1,500人の来場者に向けて、その技術力の高さをアピールした。

また、本会が地域事務局を務める「ものづくり補助金」採択事業者も15社が出展し、その成果を披露した(内容については下部掲載写真参照)。



(有)岩崎鉄工



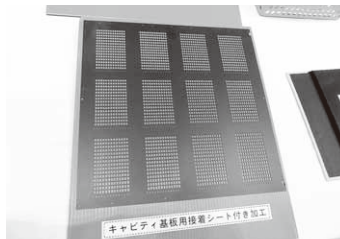
(有)エース木型



井上熱処理工業(株)



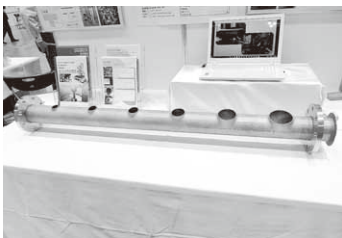
(株)木村鋳造所



(株)エレメント電子



(株)エム・エス・ケー



須田装置(株)



山恵鉄工(株)



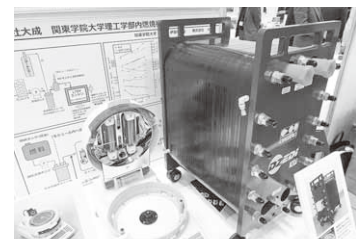
(株)コヤウチファスナー



(有)中山金属工業



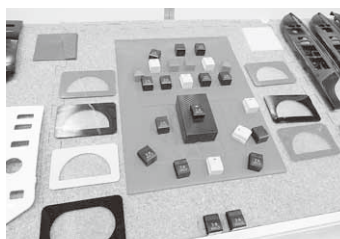
群馬精工(株)



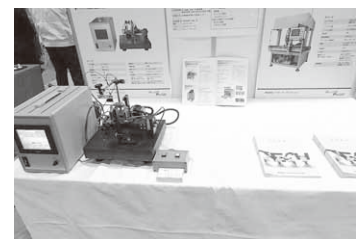
(株)大成



(株)ヤマザキテクノ



(株)富士精工



(株)ハイテック・プレジジョン